

## 研修報告 A班2グループ チームK

### グループ討議

テーマ1：責任ある情報を公表するための職員の役割

- ・情報を公開する意義、目的

最初に情報を公開する意義と目的について討議し、意義を「社会的責任を果たすこと」であると定義した。また目的については「必要としている人に正しい情報を正確に伝えること」とした。

- ・『情報公表の現状分析』と『情報公開を通じた社会へのアピール』

各大学の現状は、強みについて積極的に複数媒体を用いて目立つように公表し、相手側に意図的に伝えるようにしていることが多く、逆に弱みは限定的に公開することでステークホルダーの目に触れにくくしていることが多く見受けられた。

次にグループを広報チームと仮定し、大学の弱みをいかに公表するかを考えた。弱みの公表方法として効果的なのは、数値や結果を限定的に出すのではなく、弱みを弱みとして理解し「改善に向けての取り組み」を公表することだと考察した。

- ・情報公開に当たっての職員の役割

優れた情報公表をするために職員が意識しなくてはならないことは、「常に組織内で情報を共有し、共通認識を持つこと。そして求められる情報を早く正確に伝えること」であると推測された。

正しい情報を発信するために、どのような情報が必要かを見極め、教員や学生の間に入り情報を積極的に集める必要があると感じた。

### テーマ2：社会が求める人材像

- ・社会が求める人材像とは

時代によって変化する「社会が求める人材像」について考察をした。その結果、コミュニケーション力や強調性、積極性など社会人基礎力以外にも様々な能力が求められるとの意見が交換され、社会が求められる人材像を「社会で活躍するために成長し続ける人」として捉えた。

- ・『人材育成のための施策』と『人材育成のための ICT 活用』

求められる人材がなぜ育成できていないのか分析した。その結果、原因として「学生・教員との間に距離ができて」「教員は現状に満足している」「学生の目的意識が不明確である」の3つが上げられた。この現状を打破するために、職員が学生と教員の間に入り学生の可能性や選択肢を提示することで、学生を社会が求める人物像へと導いていく必要があると考えた。

その手段の1つとしてICTを活用したアンケートを定期的実施し、結果をフィードバックすることで、学生や教員が同じ方向に進んでいるかを確認できると考察した。

・人材育成のための職員の役割

職員の役割として、まずは学生・教員ともに目指す方向を明確にできるよう、時代に即した「社会が求める人材像の情報提供」が挙げられる。そして、学生に対しては大学生活の中で学生の目指すべき選択肢と可能性を情報提供し、教員に対しては、学生の目標に関する情報を提供することが職員の役割だと考える。

まとめ

2日間の研修では大学職員としての役割を大枠に捉え、『①情報を公表・公開する』『②人材を育成する』といった観点で討議を行った。その結果、職員が業務をこなす上で大事なことは、「問題意識を常に持ち、現状に留まらず常に進化していく」という意識を持つことだと感じた。

また、職員としての役割として、学生・教員・職員を結び付ける『新しい時代の学教職協働の確立』が求められていると捉えた。

以上